

高知県商工団体連合会 NO.809(49-44)
〒780-8035 高知市河ノ瀬町33
TEL088-832-4838 FAX088-832-3126
Eメール kosityoren@citrus.ocn.ne.jp
ホームページ http://kosityoren.web.fc2.com/
このニュースはホームページでもご覧になれます

高商連ニュース

全商連総会・共済会総会(5/26~28) までに読者200人拡大に挑戦

■総会にむけた拡大状況(4/1~4/15)

	拡大					成果 会員
	読者	会員	共済	婦人	青年	
安芸	1	0	2	0	0	1
香美郡	1	1	1	0	0	1
南国	1	0	1	0	0	1
高知	1	0	3	0	0	2
仁淀川	0	0	0	0	0	0
須崎	0	1	0	0	0	1
中村	0	0	0	0	0	0
計	4	2	7	0	0	6

成果会員: 読者か会員を拡大した会員(紹介含む)

四国の拡大競争の高知県連の順位(4/15)
読者3位、会員2位、共済1位

須崎 建設業法で再入会
2月に読者になっていた元会員のOさん。4月に入り、建設業法の相談で再入会となりました。

前半戦(3月末まで)に続き、全国総会にむけても四国4県で拡大競争を行います。読者、会員、共済、婦人、青年の会員比拡大率を競います。四国4県で励ましあいながら、仲間増やしの高揚の中で全商連総会・全商連共済会総会を迎えましょう。

総会までに読者200人の拡大を
5月の全国総会までに商工新聞読者200人の拡大をめざそうと、理事会(4/18)でも確認しました。会員比12%、前回総会時の拡大(154人)数の3割増となります。拡大運動の成功のカギは、どれくらい多くの会員が参加するかにあります。あなたの力をお貸しください。お知り合い、取引先等に商工新聞の購読をすすめてください。

香美郡

なんでも相談会

3月4月は「なんでも相談会」のチラシを大量に配布し、様々な相談が民商に寄せられました。この間、「チラシを見たのですが」という相談や問い合わせは20件あり、本当に身につまされる切実な声ばかりでした。

毎月定例の無料なんでも相談会は4月8日に第8回目の開催となり、2名の相談がありました。

県外から移住された方の起業に関する相談では、事業計画作成や、開業融資獲得のノウハウを行政的見地や商売人の目から山崎会長が対応しました。相談者は、会長の提案になるほど、「そうか」と大きく手を打ち、まさに「目からウロコ」の表情。今後も経過を見守りながら継続して対応していくことになっています。

相談について相談に訪れた方は、「誰に相談していいかわからず悩んでいた」そう、ほっとした様子。今後必要な書類をそろえて、専門家と相談していく予定です。

須崎

換価の猶予3人

これまでに8回開催した「なんでも相談会」で相談がなかったのは2回だけです。次回「第9回無料なんでも相談会」は5月13日(日)午後5時に開催します。困っている方に一声かけてください。(4/16会報香美郡)

会員Aさんは、昨年より売上は伸びているものの収益は伸びず消費税納税額は昨年を上回り、一括納付の見通しがつかず、4月2日税務署交渉し要望通りの納付が認められました。「よかった、助かった」と安堵の言葉と表情でした。

Bさんは、口座振替(4月25日)が困難で、別途納付することで解決しました。Cさんは、税務調査で所得税消費税の追徴があり眠れない日々も。短期間の納付は困難であることを訴え、長期の分納ができることになりました。(4/9須崎民商だよ)

憲法施行71周年県民のつどい

時代を言い訳にできない
主権がある だから選ぶ
この憲法を

5月3日(木・祝) 9:30(開場9:00)
高知市文化プラザかるぼーと《大ホール》
参加費1000円

大学・高校500円 中学以下 無料

講演 安倍改憲の危険性を考える

一激動の朝鮮半島情勢を踏まえて

講師 浅井 基文さん(元外交官)

- 1941年 愛知県生まれ
- 1963年 外務省入省 アジア局中国課長、駐英公使などを歴任
- 1990年 外務省辞職
- 日本大学法学部教授
- 明治学院大学国際学部教授
- 2000年 広島市立大学広島平和研究所長就任(2011年退職)

◆託児所あります(要予約、無料)

主催 改憲させない3000万人署名こうち総行動
高知憲法アクション こうち九条の会
平和憲法ネットワーク高知 護憲連合高知
県本部 高知憲法会議 高知県平和運動センター 高知県平和委員会

3000万人署名

「安倍9条改憲NO! 憲法を生かす全国統一署名」にご協力を。1会員10人分の目標です。集まった署名は役員または事務局に届けて下さい。

<お知らせ>

大型連休中の県連事務局の業務について

4月28日(土)から5月6日(日)については、5月1日はメーデー参加のため事務所は閉めます。5月2日は通常業務です。他の日は休みとなります。

「憲法をめぐる岐路に立つ日本」②
高知県革新懇ニュース(2018年3月号)より転載(3回予定)
峠を上りきれば、道は自ずから開かれる3000万署名の意味
今の署名は「追いつめられて」ではない。安倍政権は暴走を続けている。予算案では軍事費は6年連続過去最高、法人税率は下げる、保育無償化先送り、社会保障削減。つまり、軍拡と財界のためにはカネを使うが、国民の為には使わないということ。政治への願いを一つ選ぶアンケートで改憲をあげるのは2・8%。暮らしの願いが圧倒的。3000万署名は改憲反対と同時に憲法を守る政治を作る項目がある。圧倒的多数の願いを署名で集め、安倍改憲反対の多数者を作り、「改憲案、出せるなら出してみる」という状況を作っていく。今は「峠」。この峠を乗り越えたら良い方向に向かうこと。ろくでもない政治か、憲法を守る新しい政治か、その「峠」にある。